



資料提供

(県政・南部同時)



提供日：令和8年(2026年)3月12日(木)
部局：琵琶湖環境部
所属：滋賀県立琵琶湖博物館
担当：楊、上坂
電話：077-568-4811
E-mail：info@biwahaku.jp



実践知と研究知をつなぐ「琵琶湖学習」を特別開催します

概要

特別企画として開催するこのイベントでは、地域団体・自治会・市民団体が培ってきた実践知（川や水路、湧き水の管理や田んぼの水使いなどの日々の実践）と、環境用水など研究の知見を分かりやすく紹介します。

琵琶湖という共有のフィールドをめぐる実践知と研究知を通して、琵琶湖学習をより魅力的に展開するための連携の仕組みなどを考えるとともに、多様な担い手とともに創るこれからの環境活動を地域活性化につなげる具体的なヒントを探ります。

詳細

日時：令和8年（2026年）3月21日(土) 14：00～16：00

会場：琵琶湖博物館セミナー室

プログラム：研究者によるトーク型講義

実践者によるトーク型セッション（事例発表等）

グループワーク

登壇者：秋山道雄（滋賀県立大学名誉教授）

木下 彰（針江生水の郷委員会）

奥村修司（栗東市走井自治会）

水と暮らし研究会メンバー 他

申込方法：しがネット受付

(<https://ttzk.graffer.jp/pref-shiga/smart-apply/apply-procedure-alias/biwakogakusyuu0321>)

申込期限：令和8年（2026年）3月17日（火）

参加費：無料（展示見学の場合は常設展示観覧料が必要）

対象：中学生以上

団体について

針江生水の郷委員会：水環境と暮らしに密着した地域活動に長年にわたって取り組んでいる。受け継がれる知恵を環境保全や地域活性化にも活かしている。

栗東市走井自治会：自然を利用しながら守る工夫など、地域に根付いた独自の文化が育まれている。

水と暮らし研究会：琵琶湖周辺地域で井戸、湧き水などを対象に約200カ所を調査している。

実践知と研究知をつなぐ

「琵琶湖学習」

—多様な担い手とともに創る、これからの環境活動—

このイベントでは、「実践知」と「研究知」を融合し、琵琶湖学習をより魅力的に展開するための連携の仕組みなどを探ります。

環境活動を地域活性化へとつなげる具体的なヒントを、一緒に考えてみませんか。

日時 2026年3月21日(土) 14:00～16:00

会場：琵琶湖博物館 セミナー室

プログラム

- ◆研究者 “トーク型講義”
- ◆実践者 “トーク型セッション”
- ◆グループワーク

秋山 道雄 (滋賀県立大学・名誉教授)
木下 彰 (生水の郷委員会)
奥村 修司 (栗東市走井自治会)
水と暮らし研究会メンバー他

対象：実践者、研究者、大学生、団体や機関等

募集人数：15名 (中学生以上)

申込方法：しがネット受付

(<https://ttzk.graffer.jp/pref-shiga/smart-apply/apply-procedure-alias/biwakogakusyuu0321>)

申込期限：2026年3月17日(火)

参加費：無料 (展示見学の場合は常設展示観覧料が必要)



◀こちらからお申込み
いただけます

【お問い合わせ先】

滋賀県立琵琶湖博物館 環境学習・交流係

担当：楊、吉田、青木、瀬山、猪狩

メール：you-hei@biwahaku.jp TEL：077-568-4811 (代表)